

特 別 講 演

日 本 経 済 の 転 換

神戸大学教授 経済学部

経済学博士 野 尻 武 敏

戦後四半世紀、他に類いのない高度成長をとげてきた日本経済は、このところ、内外ともにさまざまな困難が加わって、根本的な転換を迫られてきている。ここでは、そうした転換期にある日本経済とその方向を、つぎのような角度から概観してみたいと思う。

1. 迫られる日本経済の転換

a) 多難の1970年代

1. 昭和45年..... 公害キャンペーン
2. 昭和46年..... ドル・ショック
3. 昭和47年..... 列島改造論
4. 昭和48年..... 反企業風潮、オイル・ショック、インフレ

b) これらの意味するもの ——— 転換の要請

1. 産業構造の転換
2. 経済・社会体制の転換
3. 経済主義の挫折

Ⅱ. 高度経済成長とその諸問題

a) 日本経済の高度成長

1. 高々度の成長速度
2. 民間設備投資主導
3. 重化学工業中心
4. 輸出拡大指向

b) 高度成長に伴った諸問題

1. 経済の不均衡成長
2. 生活の不均衡成長
3. 経済の基礎条件（とくに自然と人間）の変化

Ⅲ. 転換の方向

a) 経済の転換

- | | | |
|---------------|-----|-----------|
| 1. 高成長（生産中心） | ——> | 高福祉（生活中心） |
| 2. 重化学工業中心 | ——> | 知識集約型産業中心 |
| 3. 輸出拡大指向 | ——> | 国際協調 |
| 4. 民間（設備投資）主導 | ——> | 政府（財政）主導？ |

b) 生活体系の転換

- | | | |
|---------|-----|------------------|
| 1. 浪費 | ——> | 節約（節約倫理の回復） |
| 2. 経済主義 | ——> | 脱経済主義（人間，自然の回復） |
| 3. 個人主義 | ——> | 脱個人主義（全体，共同態の回復） |